

“とんチャパ”日本一！北海道帯広南商業高等学校が「食」の頂点制す！



ご当地食材を活かしたオリジナルメニューとプレゼンテーションで競う食の甲子園「第4回ご当地！絶品うまいもん甲子園」の決勝大会が10月16日（金）東京で開催されました。うまいもん甲子園は農林水産省が主催となり、高校生に日本の食文化を学んでもらう事などを目的に始まり、第4回大会では、全国の高校をを対象に335チーム138校が参加。全国7エリアの予選大会を勝ち上がった8校の高校生が、この日、東京で行われた頂上決戦で火ぶたが切られた。

激戦を制し、日本一に輝いたのは、北海道帯広南商業高等学校。

北海道の有名な豚丼を食べやすくする為に考案された「とんチャパ」は、審査員長を務めた服部幸應氏は「うまいっ！」と太鼓判。人気漫画「食戟のソーマ」原作者である附田祐斗先生も大絶賛で、北海道帯広南商業高等学校の田原美優さんは、「協力して頂いた方々に良い報告ができるのでうれしい」と泣き崩れた。

優勝校には、食料産業局長 櫻庭英悦氏より農林水産大臣賞が授与され、副賞として株式会社ファミリーマートより「全国展開商品化の権利」と「ダイドードリンコ飲料製品 学年全員分」が進呈された。

なお、今回決勝に進出した8校のメニューは、11月7日、8日に東京丸の内仲通りで行われる「JAPAN HARVEST2015」内で高校生自らが数量限定で販売。

■ご当地！絶品うまいもん甲子園HP：<http://umaimonkoshien.com/>



第4回ご当地！絶品うまいもん甲子園決勝大会表彰校

【受賞内容】

■優勝

農林水産大臣賞 「北海道帯広南商業高等学校」（とんチャパ）

■準優勝

食料産業局長賞 「和歌山県立神島高等学校」（めはりんと、おにぎらずんの出会い）

水産庁長官賞 「京都府立海洋高等学校」（海洋高校 宮津ブイヤベースラーメン）

生産局長賞 「茨城県立真壁高等学校」（れんコーン！洋風春巻き）



「ご当地！絶品うまいもん甲子園」とは

「ご当地!絶品うまいもん甲子園」は、将来の農林漁業の担い手となる若者の夢を応援し、農山漁村の6次産業化を通じて地域活性化に繋げていくことを目的として、全国の農林漁業に関わる高校生が、日本の「食」や「食材」、「食文化」の素晴らしさや奥深さを理解し、地域の特産物を創意工夫して調理した「ご当地!絶品うまいもん」の日本一を決める料理コンテストです。

第3回ご当地！絶品うまいもん甲子園 決勝大会概要

- 主催：農林水産省/一般社団法人全国食の甲子園協会
- 後援：文部科学省、全国農業高等学校長協会、全国水産高等学校長協会、
全国商業高等学校長協会、全国高等学校長協会家庭部会、日本学校農業クラブ連盟
- コンセプト：1 夢の舞台を創造 2 人材育成 3 地域活性化
- 目的：食を通じて農林漁業の大切さを伝え、高校生の夢を応援を応援し地域を盛り上げ日本を元気にする
- 日時：2015年10月16日（金）11:20-16:30
- 場所：株式会社日本アクセス（特設会場）
- 参加者：全国の高校から募集し、一次、二次予選を勝ち抜いた8校（1校3名で参加）
- 内容：高校生による、ご当地食材を使ったオリジナルメニューの開発、調理、プレゼンテーション
- テーマ：それぞれの地域のご当地食材を活かした「若者が食べたくなる絶品グルメ」
- 審査基準：美味しさ（若者目線）、ご当地食材の活かし方、プレゼンテーション能力、アイデア力
- 審査員：服部 幸應（服部栄養専門学校 理事長・校長）、森崎 友紀（料理研究家・管理栄養士）
附田 祐斗（週間少年ジャンプ「食戟のソーマ」原作者）、藤田 志穂（発起人）
赤荻 達也（株式会社ファミリーマート）、向田 淳（株式会社ジェイティービー）
中谷滋（株式会社日本アクセス）、中川 誠（ダイドードリンコ株式会社）

【本リリースに関するお問合せ先】

一般社団法人全国食の甲子園協会 担当：田中（タナカ）

TEL：03-6450-5846 FAX：03-5485-8095 携帯電話：080-4159-1981